

科目名	Applied General and Business English I		Subject	Applied General and Business English I				
サブタイトル	Applied General and Business English I、ネイティブ講師指導のもと英語を聞き取る力と話す力を伸ばし、「使える英語力」を身につけることができる科目です。							
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」					
開講年次	開講時期	必修／選択	D P 1 知識・技能	D P 2 主体的行動力	D P 3 課題解決能力	D P 4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	D P 5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	D P 6 美しく生きる力を実践できる能力
1 年	前期	選択						
授業形態	単位	時間						
演習	2 単位	60 時間	◎	○	○	○		
ゲストスピーカー招聘回	なし							
教員名	ELEC			メールアドレス	yca-elec.001@・・・			
教員の略歴	国内の英語学校や中等、高等教育機関にて英語講師として従事し、日本人学習者への英語教授経験があり。ELEC 所属の英語講師として、多数の教育機関や企業などで様々なレベルの英語授業を担当する他、カリキュラムや教材の作成も担当。							
実践的教育	×							
オフィスアワー	授業の前後 3 0 分に直接声をかけてください。							

科目の概要								
英語を使う上で必要な基本的な英語句、文法、表現等を基礎から応用まで履修生のレベルに合わせて学修し、特にスピーキングとリスニングの力を伸ばすタスクに授業内外で取り組み、力を伸ばす。また、日常的に使う英語だけではなく、卒業後のキャリアに必要な英語の知識やスキルを、実際に英語を使うであろう具体的な状況をもとに、美容に関連した英語表現や語句（English for Special Purposes：ESP）も学修しながら、ロールプレイやビデオ・プロジェクト等を通して練習、応用する。グループワーク等の協同学修も多く取り入れ、ネイティブの英語講師と一緒に、「使える英語」を楽しく学修する。								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
○	-	-	あり	あり	-			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
DP1	日常生活や美容業界で起こりうる状況に応じた適切な語彙と文法構造を理解することができる。							
DP2	英語が使用される文化的背景や現象を理解し、様々な文化の違い等、取り上げる課題についてディスカッションをすることができる。							
DP3	既習語句や表現を応用する力をつけるため、具体的な課題や状況をもとにした問題解決型学修に取り組み、解決策をまとめることができる。							
DP4	授業内でのディスカッションベースのタスクに積極的に参加し、クラスメートと意見を交換したり、クラスメート同士で助け合いながら学修することができる							
教科書・教材								
教科書	Evolve 1B; Hendra, Ibbotson, and O’ Dell (Cambridge University Press, 2019)、Career Paths: Beauty Salon; Dooley and Evans (Express Publishing, 2011)							
参考文献	なし							
各自準備教材	授業初日に指示							
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
20%	10%	15%	15%	-	25%	-	15%	-
なお、出席数の不足や不正行為があった場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
定期試験の要点について授業内で解説を行います。ミニ課題については次回授業時に総括コメントを返します。								
履修上の条件・注意								
授業内統一ルールは授業初日のオリエンテーションにて説明します。 ※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。								
本科目履修と関連する資格								
なし								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間(分)
第1回	Orientation / Unit 7.1 Now is good 自宅内での日常的なアクティビティについて会話する時の表現	(DP1, DP2) 毎日の日常的な活動について話し、現在進行形を使って、今、話している時に起きていることを説明することができる	Unit Section 1 復習タスク: pg. 134: Grammar Reference and Practice sectionの問題を解く; Unit Section 2 予習タスク: Section 2 の重要語句を訳し、各語彙を使った英作文をする (pg. 68)	60 分
第2回	Unit 7.2 Now is good 旅行についての会話をする	(DP1, DP2) 新出語彙を使って、さまざまな交通手段について話すことができる	Unit Section 2 復習タスク pg. 135: Grammar Reference and Practice section の問題を解く; Unit Section 3 予習タスク pg. 70: Section 3, Functional Language の箇所を読み、表を埋める (20 minutes)	40 分
第3回	Unit 7.3 Now is good 電話で進捗を報告したり、聞いたりする表現を学ぶ	(DP1, DP2, DP4) 電話にに対し、英語で挨拶をすることができる。ターゲット・フレーズを使って、人に近況を尋ね、それに答えることができる。ターゲット・ランゲージを使って、その時の出来事を共有し、会話を続けることができる。	Unit Section 3 復習タスク: このセクションで紹介した機能的言語を取り入れたオリジナルのダイアログを書く; Unit Section 5 予習タスク: 次のユニットのスピーキング・アクティビティ用のディスカッション・ノートを作成する。	60 分
第4回	Unit 7.5 Now is good 知人へ最近の状況を尋ねる表現する	(DP1, DP2, DP3) 話題性のあるテーマ(仕事と学校、自由時間、家庭生活)について英語で話すことができる	Unit Section 5 復習タスク: セクションの内容に基づいて、オリジナルのパラグラフを書く。; Unit Section 1 予習タスク: Section 1 の重要語句を訳し、各語彙を使った英作文をする	80 分
第5回	Review: Unit 7 Now is good 復習（まとめ）	(DP2, DP3, DP4) 7 課で学習した単元を復習することで、更に会話力をあげることができる	Unit Section 1 予習タスク: 次課の新出語句の日本語訳を調べ、各語を使った英作文をする	40 分
第6回	Unit 8.1 You' re good! 自分の弱点や強みを表現する	(DP1, DP2) 活動を表す動詞と can と can't を使って、スキルや能力を説明できる。	Unit Section 1 復習タスク: pg. 136: Grammar Reference and Practice section の問題を解く; Unit Section 2 予習タスク: Section 2 の重要語句を訳し、各語彙を使った英作文をする	60 分
第7回	Unit 8.2 You' re good! 職場または学校でできること、できないことについて話す	(DP1, DP2) ターゲット・ボキャブラリーを使って仕事や学校について話すことができる。can と can't を使った可能性の表現も使うことができる。	Unit Section 2 復習タスク: pg. 136: Grammar Reference and Practice section の問題を解く; Unit Section 3 予習タスク: pg. 80: Section 3, Functional Language の箇所を読み、表を埋める	40 分
第8回	Unit 8.3 You' re good! 就職活動での自己アピールとなる表現を学ぶ	(DP1, DP2, DP4) ターゲットフレーズを使って意見を求めたり、伝えたりすることができる; ターゲット・ランゲージを使って、考えを述べたり、説明や補足情報を伝えたりすることができる; 面接でよくある質問に答えることができる	Unit Section 3 復習タスク: このセクションで紹介した機能的言語を取り入れたオリジナルのダイアログを書く。; Unit Section 5 予習タスク: 次のユニットのスピーキング・アクティビティ用のディスカッション・ノートを作成する。	60 分
第9回	Unit 8.5 You' re good! 地元や自国の人々の特徴（良い点）を紹介する	(DP1, DP2, DP3) 様々な文化背景の人々が得意とすることについて会話することができる	Unit Section 5 復習タスク: セクションの内容に基づいて、オリジナルのパラグラフを書く。	40 分
第10回	Review: Unit 8 復習（まとめ）	(DP2, DP3, DP4) 8 課で学習した単元を復習することで、更に会話力をあげることができる	Unit Section 1 予習タスク: 次課の新出語句の日本語訳を調べ、各語を使った英作文をする	40 分
第10回	Consolidation: Unit 7.1-8.5 復習と定着をはかる	(DP1, DP2, DP3, DP4) 小テストを通じて、学習した教科書単元の内容を理解しているか示すことができる	Unit Section 1 予習タスク: pg. 86: Section 1 の重要語句を訳し、各語彙を使った英作文をする	40 分
第11回	Unit 9.1 Places to go 旅行や休暇について話す	(DP1, DP2) 目標とする語彙を使って、旅行や休暇について話せる。見える物や場所について、「これ」と「これ」を使って話すことができる。	Unit Section 1 復習タスク: pg. 136-137: Grammar Reference and Practice section の問題を解く; Unit Section 2 予習タスク: pg. 88: Section 2 の重要語句を訳し、各語彙を使った英作文をする	60 分
第12回	Unit 9.2 Places to go 理想の旅行の行程を考え、まとめる	(DP1, DP2) 目標とする語彙を使って、旅行の手配について説明できる。like to, want to, need to, have to を使って、必要性和選択について話すことができる。	Unit Section 2 復習タスク: pg. 137: Grammar Reference and Practice section の問題を解く; Unit Section 3 予習タスク: pg. 88: Section 3, Functional Language の箇所を読み、表を埋める	40 分
第13回	Unit 9.3 Places to go 買い物する時に知りたい情報を尋ねる表現を学ぶ	(DP1, DP2, DP4) 情報を求めたり与えたりするためのターゲット・フレーズを使って、店の商品について話せる。ターゲット・フレーズを使って、繰り返し尋ねることができる	Unit Section 3 復習タスク: このセクションで紹介した機能的言語を取り入れたオリジナルのダイアログを書く。; Unit Section 5 予習タスク: 次のユニットのスピーキング・アクティビティ用のディスカッション・ノートを作成する。	60 分
第14回	Unit 9.5 Places to go 家族や友人のために旅行を計画する時の表現	(DP1, DP2, DP3) 日本を訪れる人のために旅行を計画することができる。	Unit Section 5 復習タスク: セクションの内容に基づいて、オリジナルのパラグラフを書く。	40 分
第15回	Review: Unit 7 - 9 復習（まとめ）	(DP1, DP2, DP3, DP4) 9 課の既習事項の定着を確認すると共に、期末試験に向けて、学習した単元の重要事項の理解を示すことができる。	Unit9 を復習し、期末試験に向けて準備する	120 分

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間(分)
第 1 6 回	Orientation / Book 1 Unit 1 Beauty Salon Workers 美容サービスで働く人について学ぶ	(DP1、DP2、DP3、DP4) 美容サロンの仕事に関連する語彙を理解し、使用することができる。美容室での仕事に関する情報を聞き取ることができる。自己紹介をし、美容室の仕事について説明することができる。	このセクションで紹介した機能的言語を取り入れたオリジナルのダイアログを書く。	50 分
第 1 7 回	Book 1: Unit 2 Welcome to Bella Salon 美容サロンとは（提供されるサービス）	(DP1、DP2) 選択した美容サービスに関連する語彙を理解し、使用することができる。美容サービスに関する情報を聞き取ることができる。	このセクションで紹介した機能的言語を取り入れたオリジナルのダイアログを書く。	50 分
第 1 8 回	Project Lesson 1 ビデオ・プロジェクト「店舗またはサロンのレビュー」作成のためのアイデアを考え、まとめる	(DP1、DP2、DP3、DP4) 例となるサンプル・ビデオを理解し、そこで使われている語句や表現を応用することができる。自分たちのプロジェクトに向けてのアイデアをまとめ、アウトラインをつくることができる。	自身のビデオ・プロジェクトのテーマを決め、次回講師に提出できるようにまとめる。自身のビデオの参考になるような資料を探す。	80 分
第 1 9 回	Project Lesson 2 ビデオ・プロジェクトのテーマ決め	(DP1、DP2、DP3、DP4) 選んだテーマに沿って集めた資料を使い、情報を整理することができる。また、テーマに沿った語句を練習し、自身のビデオ・プロジェクトに活用することができる。	ビデオ・プロジェクト用のリサーチに引き続き取り組む	50 分
第 2 0 回	Book1: Unit 15 Massage Services マッサージのサービス、依頼条件を表す表現	(DP1、DP2、DP3、DP4) マッサージのサービスやテクニックに関連する語彙を理解し使用できる。マッサージ中に、目標フレーズを使ってクライアントに指示を出したり、話すことができる。	Unit 復習タスク：評価課題のロールプレイの発表に向けて口頭練習をする	50 分
第 2 1 回	Book2 Unit 1 Busy Day at the Salon サロンの仕組みやルール、お断りする時の表現	(DP1、DP2、DP4) ワーキングガイドラインに関連する語彙を理解し、使用することができる。アポイントメントを取り、受付でお客様に対応できる。受付での顧客対応に関する情報を聞き取ることができる。目標フレーズを使って、受付でお客様に対応することができる。	Unit 復習タスク：このセクションで紹介した機能的言語を取り入れたオリジナルのダイアログを書く。Unit 予習タスク：評価課題のロールプレイ用のダイアログを作る	100 分
第 2 2 回	Project Lesson 3 ビデオ・プロジェクトの導入部分を作る	(DP1、DP2、DP3、DP4) トピックを明確かつ魅力的に紹介するために適切な言葉遣いを使うことができる。ビデオスクリプトの導入部分を計画し、初稿を書くことができる。ロールプレイ 1 の発表を行うことができる。	ビデオスクリプトの導入部分の作成を完成させる	50 分
第 2 3 回	Project Lesson 4 ビデオ・プロジェクトの本編を作る	(DP1、DP2、DP3、DP4) ビデオスクリプトの本編部分を考え、書くことができる	ビデオ・プロジェクトの本編部分のスクリプトを完成させる	100 分
第 2 4 回	Book 2: Unit 3 Business Hours サロンの営業時間について、時刻を表す表現や会話	(DP1、DP2、DP4) 営業時間や PR メッセージに関連する語彙を理解し、使用することができる。営業時間に関する情報を聞き取ることができる。ターゲットフレーズを使って、営業時間やアポイントメントについて話すことができる。	Unit 復習タスク：このセクションで紹介した機能的言語を取り入れたオリジナルのダイアログを書く。	50 分
第 2 5 回	Book 2: Unit 9 理容サービス（シェービングについて、かかる施術時間について説明するなど）	(DP1、DP2、DP3) 理髪サービスに関する語彙を理解し使用することができる。サロンでのシェービングサービスに関する情報を聞き取ることができる。ターゲットフレーズを使って顔の毛や男性のシェービング技術について話すことができる。	Unit 復習タスク：このセクションで紹介した機能的言語を取り入れたオリジナルのダイアログを書く。	50 分
第 2 6 回	Project Lesson 5 ビデオ・プロジェクトの結論部分を作る	(DP1、DP2、DP3、DP4) 重要なポイントを要約し、締めくくりの言葉を述べることができる。それを応用して、ビデオスクリプトの結論部分を計画し、作成することができる。	ビデオ・プロジェクトの結論分のスクリプトを完成させる	60 分
第 2 7 回	Book 2: Unit 15 スパ・サービスで使われる英語について	(DP1、DP2、DP3) スパのフェイシャルに関する語彙を理解し使用することができる。スパサービスに関する情報を聞き取ることができる。ターゲットフレーズを使ってスパでのフェイシャルトリートメントについて話すことができる。	このセクションで紹介した機能的言語を取り入れたオリジナルのダイアログを書く。	50 分
第 2 8 回	Project Lesson 6 ビデオ・プロジェクトの最終版を作る	(DP1、DP2、DP3、DP4) ビデオプレゼンテーションをリハーサルし、クラスメートおよび教師からのフィードバックをもとに改善することができる。そのフィードバックを最終スクリプトに反映させることができる。	ビデオ・プロジェクトの最終版を完成させる	70 分
第 2 9 回	Book 3: Unit 1 セールや割引商品について	(DP1、DP2、DP3) 特別セール、割引、プロモーションに関する語彙を理解し、その情報を聞き取ることができる。ターゲットフレーズを使って割引やプロモーションについて話すことができる。	このセクションで紹介した機能的言語を取り入れたオリジナルのダイアログを書く。Unit 予習タスク：評価課題のロールプレイ用のダイアログを作る	100 分
第 3 0 回	Project Lesson 7 / Assessed Roleplay ビデオ・プロジェクトおよびロールプレイ課題の発表	(DP1、DP2) 学生同士のビデオを視聴し、そのビデオについてフィードバックをすることができる。自己振り返りシートを記入し、自らの学修を振り返ることができる。	期末試験のための復習、準備	120 分